

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



平成27年5月発行

第40期 報告書

平成26年3月1日から
平成27年2月28日まで



五月が丘入口店



当社の強みを活かした出店戦略を展開してまいります。

経営理念

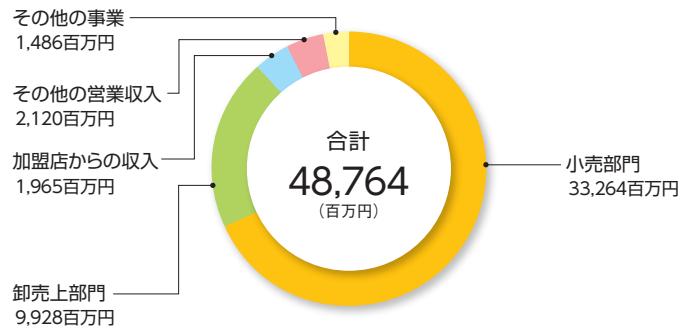
- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

ポプラグループのストアブランド



ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

営業総収入の内訳



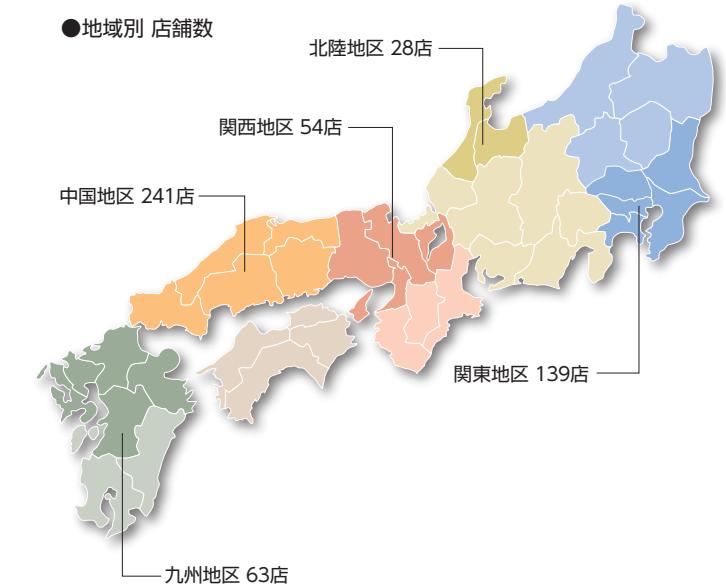
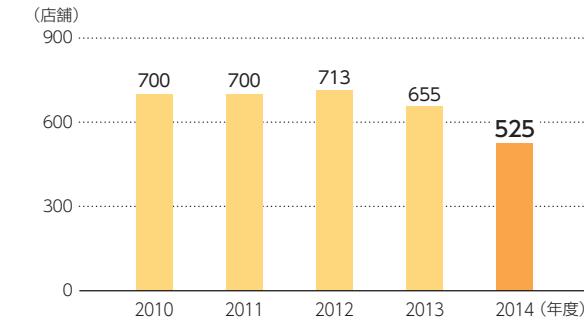
	当期実績 (百万円)	前期比 (%)
小売部門	33,264	85.5
卸売上部門	9,928	90.7
加盟店からの収入	1,965	91.0
その他の営業収入	2,120	95.1
その他の事業	1,486	118.7
合計	48,764	87.9

ポプラネットワーク

当社独自の事業骨格である「製販一貫体制」および当社のフランチャイズシステムの特徴である「売上ロイヤリティ制度」の優位性を活かして、病院や大学、ホテル、駅構内や空港などの限定的な商圈や過疎地域等への出店も進めています。

また、当社の商品・運営ノウハウを小型小売店に提供するリテール支援事業についても積極的に展開しています。

年度別店舗数の推移



新規出店の状況

新規出店は、法人加盟の開拓と企業コラボによる出店を推進し、病院、大学、職域、市役所などへの出店のほか、スーパー、100円均一店との複合店舗や、対馬、壱岐などの離島への出店により、合計34店舗（閉店164店舗）を実施し、期末店舗数は525店舗となりました。

	実績	計画	差異	前期
出店	34	54	△ 20	41
閉店	164	26	138	99
期末店舗数	525	683	△ 158	655

下期の新規開設店舗11店舗（上期23店舗）

【ポプラ】
座間駐屯地店（神奈川県）・西梅田駅売店北店（大阪府）・Aコープ大山店（鳥取県）・バル宮島口店（広島県）・老岐勝本店（長崎県）・フェイス宗像店（福岡県）・フェイス小倉南店（福岡県）

【生活彩家】
さいたま市役所店（埼玉県）・済生会金沢病院店（石川県）・堺市役所店（大阪府）・アンスリー北野田店（大阪府）



さいたま市役所店

「温かくおいしい店炊きご飯のポプラ」、 「ちょっとおしゃれな生活彩家」の コンセプトを確立してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第40期（平成26年3月1日から平成27年2月28日まで）の報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援助とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成27年5月



代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当期の業績について 教えてください。

円安や原油安の恩恵を受け、製造業を中心に収益や雇用を巡る環境は好転しているものの、個人消費は消費税増税後、消費者の節約志向が強まる中、消費回復に勢いがいない状況が続きました。当期の業績は、チェーン全店売上高73,747百万円（前連結会計年度比11.4%減）、営業総収入48,764百万円（同12.1%減）、営業損失945百万円（前連結会計年度実績：営業損失780百万円）、経常損失925百万円（同：経常損失742百万円）となりました。また、店舗の閉店等に伴う減損損失584百万円、繰延税金資産の取崩し等249百万円を計上したことなどにより、当期純損失1,923百万円（同：当期純損失2,300百万円）となりました。

Q2 当期の取り組み施策について 教えてください。

■株式会社ローソンとの資本業務提携

業界を取り巻く環境が大きく変化する中で、当社および株式会社ローソンは、従来の取り組みに加え一層の経営体制強化が必要との認識で一致し、商品開発・共同仕入、店舗開発情報の共有、共同販売促進キャンペーンの実施、物流インフラの相互活用などの分野での協業を目的として資本業務提携いたしました。

■業務改革（＝業革）の状況

業革の第1ステージ営業改革については、中食発注最適化システムの「中食マックスシーク」を機能強化した「マッ

クスシーク2」を平成26年8月に導入し、売場の豊富感と立地・客層に合わせた品揃えを強化いたしました。

また、業革の第2ステージの取り組みとして、売場の品揃えをさらに強化する目的で、主力取引先と協業でMD検討会を開始いたしました。ビッグデータの分析をもとに月次で仮説検証を繰り返すことで対象カテゴリの販売力強化を促進しました。これらの取り組みを継続的に行うことでお客様によりご満足いただける店づくりを進めております。

■商品・サービスの状況

有職女性層やシニア層を対象にした中食ニーズ取り込みの一環として、平成26年4月から常温惣菜「グーグーデリ」を展開、オリジナルデザート「hitotema（ひとてま）」シリーズでは焼菓子、主力のポップ弁では「ポップ弁ゴールド」の展開をそれぞれ開始し、変化するお客様ニーズへの対応を進めています。

また、同年10月1日より楽天Rポイントカードサービスを開始、お客様はRポイントカードを活用することでポプラグループ店舗でのお買い物で楽天スーパーポイントを貯めたり使ったりできるようになりました。他の加盟店や楽天市場などのインターネット上のサービスとも連動できることから利便性の高いポイント制度として利用が拡大しております。

■新規事業の状況

とんかつ専門店を展開するアークランドサービス株式会社とフランチャイズ加盟契約を締結し、平成26年7月に当社運営による「かつや」1号店を広島市内に、同年9月に2号店を山口市内にオープンいたしました。

また、ドラッグストア事業は3店舗を展開中で、これら2つの事業は今後、コンビニエンスストア店舗からの転換や

併設などCVS事業とのシナジー効果の創出に向けて展開を進めてまいります。

■構造改革の状況

これら業務改革や商品改革の推進により、中食を中心に営業力が向上し、既存店前年売上が前年水準をクリアしている店舗が過半数を占める状況になっておりますが、一方で、小商圏における競争環境の激化に伴い、不採算となった低日販店舗の赤字が全体業績を圧迫する構造に陥っております。

今後先行きの見通しに慎重な消費心理による個人消費の伸び悩みや、同業他社の大量出店に伴う競争の激化など、厳しい環境で推移すると予想されることから、新規出店、旗艦店の強化、中食強化、小売業機能サポート事業など成長分野への再投資の促進を目的に、第4四半期に、収益を圧迫していた不採算直営店舗を中心に121店を閉店いたしました。また、弁当・惣菜の製造効率を向上させるため、福岡弁当工場を閉鎖して広島弁当工場へ集約することを決定し、準備を開始いたしました。

Q3 今後の見通しについて 教えてください。

第41期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入は38,291百万円（当連結会計年度比21.5%減）、営業利益は249百万円（当連結会計年度実績：営業損失945百万円）、経常利益は265百万円（同：経常損失925百万円）、当期純利益は106百万円（同：当期純損失1,923百万円）を見込んでおります。

TOPICS 1 企業情報 「できたてのポップ弁」絶好調!

ポップラでは、フライヤー什器の導入拡大にあわせて、フライヤーで揚げたお惣菜と炊きたてご飯を組み合わせた「できたてのポップ弁」の販売を展開してまいりました。

他チェーン・他業態との競争が厳しい中、弁当・むすびの売上は好調で、特にポップ弁のカテゴリに限っては26ヵ月連続で既存店前年対比がプラスで推移しています(平成27年3月時点)。ポップラグループではこの勢いをさらに加速させるため、定番の唐揚げ弁当に加え、「できたてミックスフライ弁当」と「できたてチーズハンバーグ弁当」の2アイテムを新たに追加して、平成27年5月後半より「できたてのポップ弁」取扱店全店での発売を目指します。

生まれ変わったポップラの「できたてのポップ弁」に是非ご期待ください。



TOPICS 3 企業情報 ポプラ・イメージソング “ベリーグッド「ポップラ」”

ポップラにもコーポレート・ソングがあるのをご存知ですか？
タイトルは“ベリーグッド「ポップラ」”。平成の初め頃からローカルのテレビCMなどで流れていました。

ポップラではこのたびこの曲を復刻し、平成27年1月からポップラグループ各店で1時間に1回、BGMとして流しています。気持ちがほっとする、どこか懐かしい感じのする曲です。ポップラグループ店舗にお立ち寄りの際は是非聞いてみてください。

(歌詞抜粋)

♪あと五分だけ 遠回りしましょッ
すてきなポップラのある街角まで
だってここは しあわせのつづき道
あなたと二人
夕日のシャワー あびながら
肩寄せ合って歩きましょう。
AH! すてきな街 AH! すてきな風
ベリーグッド 「ポップラ」

TOPICS 2 企業情報 岡山県と包括連携協定を締結

ポップラは平成27年3月に岡山県との間で、相互に連携を強化し、岡山県内における地域の一層の活性化および県民サービスの向上を図るため、包括連携協定を締結しました。

具体的な取り組みとしては、県政広報資料の店舗への配置、首都圏を中心とする県外店舗での岡山県産商品のPR販売などを行っています。

また、生活彩家岡山県庁店では「テストマーケティング応援コーナー」を設置し、岡山県内事業者が生産した商品のテスト販売を実施しています。コンビニエンスストア市場のニーズに即した商品改良や販売戦略の立案に寄与しています。

平成24年の広島県、平成26年の鳥取県に続き3例目の締結となります。



TOPICS 4 企業情報 コラボ企画、続々!

ポップラは平成26年10月に若年層に絶大な人気を誇るシンガーソングライター伊東歌詞太郎さんとタイアップして「秋のお菓子フェア」を実施しました。対象のお菓子2個お買い上げでもれなく伊東歌詞太郎さんオリジナルクリアファイルをプレゼントするという企画で、ポップラグループ店内では伊東歌詞太郎さん作詞作曲の「ポップラの丘に風が吹く」をメッセージ付きで放送しました。

これがご縁で、平成27年4月に伊東歌詞太郎さんのセカンドアルバム「二律背反」のリリースを記念した店内告知をポップラグループ各店で実施いたしました。アルバムには先のお菓子フェア・コラボソング「ポップラの丘に風が吹く」も収録されています。

また、同年4月には、前回大好評だった人気アニメ「たまゆら」とのコラボ企画第2弾を実施しました。劇場版の上映に合わせたタイムリーな企画となりました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第40期 平成27年2月28日現在	第39期 平成26年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	3,529	2,301
受取手形及び売掛金	284	198
商品及び製品	996	1,333
原材料及び貯蔵品	45	20
その他	1,567	1,687
貸倒引当金	△ 7	△ 8
流動資産合計	6,415	5,534
固定資産		
有形固定資産		
自社有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	890	1,228
土地	2,322	2,461
その他（純額）	1,268	1,592
自社有形固定資産合計	4,482	5,282
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	903	1,165
土地	343	400
その他（純額）	102	91
貸与有形固定資産合計	1,349	1,657
有形固定資産合計	5,831	6,940
無形固定資産	814	837
投資その他の資産		
敷金・保証金	2,484	2,805
その他	882	781
貸倒引当金	△ 84	△ 80
投資その他の資産合計	3,283	3,507
固定資産合計	9,929	11,284
資産合計	16,344	16,818

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 3

科 目	第40期 平成27年2月28日現在	第39期 平成26年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,492	2,620
加盟店買掛金	1,687	921
預り金	1,118	1,394
未払法人税等	88	115
賞与引当金	67	81
その他	2,488	2,005
流動負債合計	8,942	7,138
固定負債		
リース債務	1,068	1,266
退職給付引当金	—	363
退職給付に係る負債	507	—
長期預り金	1,603	1,705
資産除去債務	780	1,028
その他	625	595
固定負債合計	4,585	4,959
負債合計	13,527	12,098
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,097	2,649
利益剰余金	△ 1,860	△ 487
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	2,647	4,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	149
退職給付に係る調整累計額	△ 73	—
その他の包括利益累計額合計	170	149
純資産合計	2,817	4,720
負債純資産合計	16,344	16,818

POINT 1

流動資産

当期末が休日であったため、現金及び預金が増加したことなどにより、流動資産が前期末に比べ881百万円増の6,415百万円となりました。

POINT 2

固定資産

不採算店舗の閉鎖等により、固定資産が前期末に比べ1,355百万円減の9,929百万円となりました。

POINT 3

流動負債

当期末が休日であったため、仕入債務が増加したことなどにより、流動負債が前期末に比べ1,803百万円増の8,942百万円となりました。

POINT 4

売上高

売上高の内訳は、当社直営店舗の小売売上高33,264百万円（前期比14.5%減）、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高9,928百万円（同：9.3%減）、その他の事業1,486百万円（同：18.7%増）です。

POINT 5

当期純損失

店舗の閉店等に伴う減損損失584百万円、繰延税金資産の取崩し等249百万円を計上したことなどにより、当期純損失1,923百万円となりました。

POINT 6

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローの増加は主に仕入債務の増加額が1,638百万円あったことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローの増加は主に店舗にかかる有形固定資産の取得による支出が310百万円あったこと及び有形固定資産の売却による収入が300百万円あったことによるものです。財務活動によるキャッシュ・フローの減少は主に設備関係割賦債務の返済による支出が247百万円あったこと及びリース債務の返済による支出が314百万円あったことによるものです。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期 平成26年3月1日から 平成27年2月28日まで	第39期 平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで
売上高	44,679	51,099
営業収入	4,085	4,388
売上原価	35,082	39,990
営業総利益	13,682	15,497
販売費及び一般管理費	14,627	16,277
営業損失	945	780
営業外収益	75	92
営業外費用	55	54
経常損失	925	742
特別利益	196	218
特別損失	867	1,725
税金等調整前当期純損失	1,595	2,249
法人税、住民税及び事業税	78	99
法人税等調整額	249	△ 49
少数株主損益調整前当期純損失	1,923	2,300
当期純損失	1,923	2,300

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期 平成26年3月1日から 平成27年2月28日まで	第39期 平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,741	489
投資活動によるキャッシュ・フロー	47	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 561	△ 584
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	1,227	△ 55
現金及び現金同等物の期首残高	2,301	2,356
現金及び現金同等物の期末残高	3,529	2,301

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 6

POINT 6

POINT 6



会社概要

(平成27年2月28日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年（1976年）4月20日
チェーン店舗数	525店舗
従業員数	510名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

株式の状況

(平成27年2月28日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	9,905,822株
株主数	10,322名

第39期中間期末に比べ335名増加しました。

大株主（上位10名）

(平成27年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,212,744 株	22.33 %
ポプラ協栄会	1,756,209	17.72
株式会社ローソン	495,300	5.00
ポプラ社員持株会	306,731	3.09
株式会社広島銀行	212,960	2.14
三菱食品株式会社	175,655	1.77
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
日本生命保険相互会社	166,060	1.67
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

主な子会社

(平成27年2月28日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
ポプラ保険サービス 有限公司	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業

(注) 1. 株式会社キリン堂薬局は平成26年7月4日に解散決議いたしました。
2. 出資比率には、間接所有分（ ）を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.7%、大黒屋食品株式会社73.3%となっております。

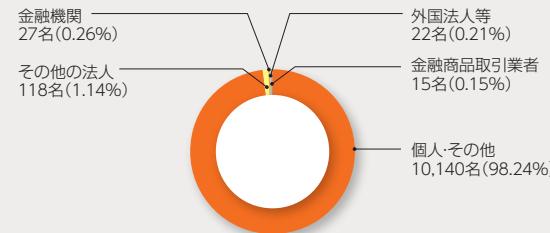
役員

(平成27年5月21日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	常勤監査役	宮崎 進
代表取締役社長	目黒 真司	社外監査役	白田 耕造
取締役副社長	中間 昭登	社外監査役	大野 勝美
取締役	野村 一雄		
取締役	市村 英世		
社外取締役	藏田 和樹		

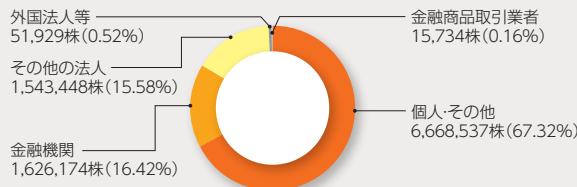
所有者別株主分布状況

(平成27年2月28日現在)



所有者別株式分布状況

(平成27年2月28日現在)



VOL.4 楽天「Rポイントカード」本格展開!

平成26年10月に導入を開始した楽天株式会社の共通ポイント「Rポイントカード」の会員数と利用率が順調に伸びています。

「Rポイントカード」は、これまでネットショッピングなどで運用されていた楽天株式会社の「楽天スーパーポイント」をリアル店舗でも利用できるようにしたポイントプログラムで、街のお買い物でも楽天スーパーポイントが貯まる・使えるお得なカードです。加盟店はポプラグループをはじめとするコンビニエンスストアの他、例えば百貨店や飲食店、ガソリンスタンド、タクシーやお引越など、様々なシーンでの相互利用が可能で、提携先は現在も拡大中です。

「楽天スーパーポイント」は会員数約9,000万人とも言われる日本最大のポイント制度で、本プログラムの導入により、ネットからリアル店舗への大きな送客効果



が期待できます。ポプラグループでは、この送客効果を最大限活かすため、ポプラオリジナルカードの発行による顧客の囲い込みと、得られた販売データから顧客嗜好にフィットする売り場展開を実現させるための取り組みに力を入れています。例えば、これから伸ばしていきたい顧客層が支持する商品群は何か、来店頻度の高い顧客がどの商品をくり返し購入されているかなど。また、同年4月から導入を開始した、お店に立ち寄ってアプリを起動するだけで「楽天スーパーポイント」が貯まる来店促進型ポイントサービス「楽天チェック」の機能を利用した時間限定クーポンの配信なども一部店舗で開始し、効率的な販売促進の実施にも活用しています。

また、楽天株式会社の施策として実施するポイント10倍キャンペーンや期間中対象商品をお買い上げいただくことで通常ポイントに加えてボーナスポイントを付与するボーナスポイントプレゼントキャンペーンの定期的な実施など、お客様の更なる囲い込みや来店頻度を上げるための取り組みを展開しています。

